

2023年度 学校を核とした地域づくり講座第2回(9/10)
ふりかえりシートまとめ

まずは市民のイメージする自己実現・幸福からスタートするという言葉が大変印象的でした。グループでの話し合いも大変刺激になり、今後も頑張ろうと思いました。

公共図書館(中央図書館と各地域図書館)と学校図書室との連携が、地域づくりの大きな柱になると感じました。

住民自治を学ぶ原点が社会教育にある丹波市。社会教育で培ってきたこれまでの文化、仕組みが重要な社会教育施設である図書館で再生する希望を感じます。市民活動支援センターの役割、こうした取組に期待します。

参加させていただきありがとうございます。
知の学びのハブとなる中央図書館、サードプレイスの実現を祈ります。多様な価値観の人々のための、ダイバーシティ、ウェルビーイングの図書館が在ることが夢ですね。

市民が作る図書館、図書室にできるように地域と協力して、図書室の開放していきたい。友の会の活動がおもしろいと思いました。

- ・図書館の役割、使命の奥深さにおどろきました。
- ・図書館での協働、様々な団体、組織とのネットワークについて考えてみたい。

「図書館を核とした地域づくり」もアリかな?なんて思っちゃいました。

図書館が大好きです。
嶋田先生に会えて良かったです。色々なアイデアをまぶしく感じました。
丹波市でも、公共図書館、学校図書館、地域住民がま〜るく、まるく、す〜っとつながり合えたら、深まり合えたらと願ってやみません。いつかその仲間の一員として、濃く、楽しく関わるのが私の夢です。本日はありがとうございました。

今日も気づきがあり、参加してよかったです。ありがとうございました。

地域社会における図書館の重要性を認識しました。ぜひ、丹波市にもすばらしい図書館を開館していただきたいです。

身近な課題を解決する意識が本日の学びの機会に参集したのだと、無意識を意識しました。丹波市市民プラザの、無意識のうち、学びを促す機会と場の提供が継続的に必要だと感じました。

図書館が地域づくりにどう関わっていけるのか？丹波市図書館の可能性を探りたい。図書館司書の役割が大変そう。学校図書館との連携はできつつある。